

# RSI-040 FL-net(OPCN2) Protocol Driver Release Notes

## Version 5.32 Released: 2020/4

- マニュアルを更新しました。

## Version 5.31 Released: 2019/9

- 製品コード署名を更新しました。
- マニュアルを更新しました。
- ネットワークデバイス設定ツール(INpass)を更新しました。

## Version 5.3 Released: 2018/2/5

- 以下の不具合を修正しました。
  - 他ノード離脱検出時に自分自身にトークンを送り続ける問題
  - 透過メッセージにてタイムアウトが発生するときがある問題
  - 透過メッセージを 1ms 周期で送信すると API\_ERR\_CONTEXT が発生し復旧しなくなる問題
  - 透過メッセージにて API\_ERR\_LINK エラーが発生するときがある問題
  - AllocateRtMemory 等のエラー処理に不備がある問題
  - FL\_init のイベントキュー数に関する問題
- 以下のエラーコードを追加しました。(ヘッダーファイル FL.h を更新)
  - API\_ERR\_BUSY                    0x0808   ビジー状態エラー
  - API\_ERR\_MEM                    0x0810   物理メモリ不足エラー
  - API\_ERR\_VMEM                   0x0811   仮想セグメント不足エラー
  - API\_ERR\_MEM\_PARAM            0x0812   メモリサイズ指定エラー
- インストーラを修正しました。
  - INtime Node Management の AutoLoad に RSI040 ドライバ(RSI040.rta)を自動登録しないようにしました。
  - 「ライセンス許諾画面」を「インストールの注意事項画面」に変更しました。

## Version 5.2 Released: 2017/9/28

- INtime® バージョン 6.3 に対応しました。
- INtime Distributed RTOS(dRTOS)に対応しました。
  - RSI 補足ドキュメント「INtime Distributed RTOS 上での RSI 製品利用について(DOCSRSDRTOS.pdf)」を追加しました。
- 最小許容フレーム間隔(MFT) 100μs に対応しました。

## Version 5.1 Released: 2017/3/6

- INtime® バージョン 6.1, 6.2 にて動作に対応しました。
- マニュアルを「セットアップマニュアル(DOCSI040DRV.pdf)」と「API リファレンスマニュアル(DOCSI040API.pdf)」に分けて刷新しました。
- サンプルプログラム: イベント設定にて LINK\_IN/LINK\_OUT 以外のエラーイベント設定を追加しました。
- サンプルコードとして提供する API テストプログラムのバイナリをユーティリティとして追加しました(sample.rta)。
- インストールパスを変更しました:
  - \$(INtime)¥drivers¥ -> \$(Program Files(x86))¥Micronet¥RSI040¥
- インストーラにより自動的に設定されるドライバローディング設定(Autoload)を廃止しました:
  - ドライバのローディング設定は、インストール後、セットアップマニュアル(DOCSI040DRV.pdf)の手順に沿って行ってください。
- ネットワークデバイス設定ツール(INpass)を更新しました。

## Version 4.0 Released: 2014/11/18

- INtime® 4.2 以降対応 (サポート対象ネットワークスタックを旧 Legacy Network から Network7 に変更)
- サンプルプログラムにおけるプロセス終了時不具合を修正しました。
- リンクライブラリを静的オブジェクトファイルから動的ライブラリ(RSL)に変更しました。
- 設定手法に関するマニュアル記述修正

※TenAsys®, INtime®, eVM® and iRMX® are registered trademarks in USA of the TenAsys Corporation.